

中津市耶馬溪町 金吉地区

山崩れ発生から一年



現在

被災現場の現在

県北部振興局によると、本復旧工事の進捗率は全体で3月末時点で約15%。5月から6月の出水期に向け、集水井工2基は、ほぼ完成(残りは転落防止のフェンス設置のみ)。今後は、アンカー工事(3月末進捗率約18%)を急ピッチでし、安全率を高めていくとしている。

また、同局では2018年4月25日に応急工事を始めた段階から、地域住民へ約2ヵ月に1回のペースで、工事内容などの説明会を開いている。前回は、3月18日に9回目の説明会を開いた。次回は、5月中の開催を予定している。

工事内容

落石対策工	(株)川原建設
法面工	(株)大和特殊土木
集水井工(2基)	明大工業(株)
アンカー工	西日本土木(株)、朝日工業(株)
残土撤去	(株)東正路建設・(株)中津土建JV
現場整地	高野建設(株)
山腹左側の コンクリート土留工	(株)沖代建設工業・(有)渡辺建設JV



災害発生当時

北部振興局のドローンによる航空写真

早期復旧を願う横断幕



19年4月5日



19年4月5日

災害復旧する建設会社の現場事務所



19年4月5日

山頂部で進むアンカー工事

唯一形を留めていた民家



災害発生当時

残った民家周辺での捜索活動



18年12月11日

被災現場に残る民家の姿



現在

19年4月5日

中津市が民家を撤去し、斜面左側でコンクリート土留工が始まる